

# 真宗大谷派天満別院 阿弥陀如来立像

「快慶の遺風」と題する特別公開の、第5回目となります。

真宗大谷派天満別院は、北区東天満に寺地を構える寺院です。天満本願寺の法灯を継ぐと伝え、建立の年代は、慶長6年（1601）といわれます。本尊である木造阿弥陀如来立像は、像高約1mの来迎像で、平安時代後期の穏やかで上品な像容を示すとともに、意志的な表情や鋭い彫り口に、鎌倉時代の影響がうかがえる点が特色です。快慶の弟子・孫弟子世代の仏師によって13世紀中頃に製作されたと考えられる、大阪市域有数の鎌倉彫刻です。

今回特別に、一般に公開していただけることになりました。このような特別公開は、はじめての機会となります。

特別公開 予定の文化財

（変更となる場合もあります）

木造阿弥陀如来立像（表写真）

（大阪市指定有形文化財）

この特別公開は、引き続き、平野区大念佛寺、中央区三津寺、天王寺区・中央区の寺町寺院などでの、現地における仏像の公開や、中央区平野町の「辰野ひらのまちギャラリー」での、展示方式の公開も予定しています。

主催：大阪市教育委員会

大阪密教美術保存会

（会長 玉島興雅）

真宗関係史料保存会

（会長 上場顕雄）

共催：朝日新聞社

会期：2018年12月18日（火）

～12月19日（水）

午後1時～午後4時

（入場は午後3時30分まで）

※午後2時30分頃から解説予定

会場：北区東天満1-8-26 真宗大谷派天満別院 JR東西線大阪天満宮駅2番出口から 東に徒歩10分

観覧料（資料代）：100円 学生（大学生・専門学校生含む）無料

※スロープ等はなく、階段による昇降のみとなります。また、車でのご来場はご遠慮ください。

問い合わせ先：大阪市教育委員会 文化財保護課 TEL：06-6208-9168

